

同窓会 報

第29号 2023. 9. 1

〒709-0422 岡山県和気郡和気町尺所15
TEL 0869-93-1188 FAX 0869-93-1010

岡山県立和気閑谷高等学校同窓会事務局

『 新 た な 展 開 へ 』

同窓会長 内山 登

創学350年に続いて、昨年の和気高等女学校の「創立100周年」の事業も終了しました。

本年4月からは、赤松新校長をお迎えして、新たな展開へ向け、動き出しました。昨年末、岡山県教委は、再編基準の適用を本校については、留保することとしました。

これにより、当面5年間、本校は再編を気にせず、特色を出すことに専念できる環境となりました。

なお、学区につきましては、来年度より、東備学区から、全県学区に変更することとなりました。

また、和気町との連携により、新たな寮の設置や野球部強化の動きも出てきました。

このような動きの中で、新たな展開を目指し、特色を生み出すべく、同窓会も努力して参る所存です。引き続き、同窓生の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



令和5年度同窓会総会のご案内

毎年恒例の同窓会総会を右記の要領で開催します。
会員はどなたでも参加できます。卒業年を超えて参加して思い出や現在・未来と一緒に語りましょう。参加を希望される方は同封のハガキでお申し込みください。

申し込みが会場の収容人数を超えた場合は申し訳ありませんが、先着順とさせていただきます。

*今回は昭和56年3月卒業生（昭和37年4月～昭和38年3月生まれ）が当番幹事団となります。代表幹事から依頼のあった方々はご協力をお願いします。

日時：令和5年10月22日（日）

11:00～12:00 総会（10:30～受付）

総会終了後写真撮影～懇親会

2時間半程度

会場：ビューアリティ まきび

（岡山市北区下石井2-6-41）

TEL 086-232-0511

会費：5,000円（当日集金します）

（問合せ先）岡山県立和気閑谷高等学校

同窓会事務局 担当：赤品真一

TEL(0869) 93-1188

秋 菜

10月28日(土)

10:00～

閑谷学校大成殿において、孔子の徳を称える儀式「釈菜」が行われます。大成殿の儀に続き、講堂の儀もあります。参加費2,500円（昼食代含む）で一般公募（先着順）をしています。お申込みは財団法人特別史跡旧閑谷学校顕彰保存会事務局または史跡受付へ。

〒705-0036 岡山県備前市閑谷784

事務局 (0869) 67-9900 史跡受付 (0869) 67-1436

校長あいさつ

校長 赤松 一樹

岡山県立和気関谷高等学校同窓会の皆様におかれましては、御清祥のこととお慶び申し上げます。また、平素から本校教育活動の充実と発展に格段の御理解と御支援を賜り厚く御礼申し上げます。

校長室に「信勤儉 学びの跡」と題した森崎岩之助先生の書が掲げられています。この書に向き合っていると、本校の源流である関谷学校に大きな志をもった若人が集い、背筋を伸ばして学ぶ姿が臉に浮かびます。私は、本年4月に赴任して参りましたが、350年を超える歴史と伝統をもつ本校に勤められることに対して身が引き締まりますとともに、「信勤儉」を掲げ脈々と関谷精神を引き継いでいらした同窓の諸先輩方に畏敬の念を覚えております。

さて、本校の様子を少し報告させていただきます。4月には110名の新入生を迎えて新学期をスタートしました。平成30年度から始めた全国募集は、6年目となる今年度、東京、大阪、兵庫から10名が入学しました。昨年、同窓会に御支援いただいて設置した金剛寮では、新入生4名、2年生2名の計6名の男子生徒が共同生活をしています。5月には新型コロナウイルス感染症の位置付けも変わり、校内は徐々に本来の姿を取り戻しつつあります。

本校では、地域社会に貢献し活躍できる人づくりに取り組んでおり、地域をフィールドとした探究学習やボランティア活動等を積極的にすすめ、「わけ」の地での三年間の学び大切にしています。

その一つとして、学校設定教科「地域協働探究」(普通科)や課題研究(キャリア探求科)を設け、地元和気町をはじめ、近隣の市で地域づくりに取り組んでいる皆様からお話を伺ったり、地域の事業所等でインターンシップをさせていただいたり、地域でのフィールドワークを積極的に行っています。こうした活動を行った生徒の感想には、「地域の人とのぬくもりを知ることができた。」「将来地域との関わりを大切にしていきたい。」など

の言葉がみられ、地域で活躍し社会に貢献しようとする意識の高まりを感じます。

一方、県教育委員会は平成31年に県立高等学校教育体制整備実施計画を定め、今年度以降の入学者の状況によっては再編整備の対象

としたり募集停止とする再編整備方針を示していましたが、昨年12月に、本校のように一市町に一枚しかない県立高校は、この再編整備基準の適用を令和10年度まで保留することとしました。しかし、昨年生まれた東備学区(和気町、赤磐市、備前市、瀬戸内市、旧瀬戸町)の子どもは、現高校一年生より400人以上少ない約700人で、今後、本校の生徒募集はこれまで以上に厳しくなります。こうしたこともあり、本校では、令和6年度入学生から普通科を全県学区とすることとなり、普通科、キャリア探求科ともに、県内全域から学区の高校として通学できるようになります。和気町や近隣地域をはじめ、県内、そして、全国から、「『わけ』で学び、地域で行う体験を経験に変え、将来、それぞれの地域で活躍したい。」と多くの子どもたちが目指してくれる学校となりますよう、一層の魅力づくりに努めて参る所存です。これからも同窓生や地域の皆様にお力添えをいただき、将来にわたり、関谷精神を継承し、地域を支え、地域に貢献する若者を育てる学校としてあり続けたいと存じます。

同窓会の皆様には、これからも本校の教育活動に更なる御理解と御支援をお願い申し上げますとともに、同窓会のますますの御発展と会員の皆様の御健勝をお祈りして、御挨拶とさせていただきます。



学校の近況報告

地域との協働による和気閑谷高校の学び

教頭 久常 宏榮

令和4年度は、withコロナのもと、マスク着用、手指消毒の徹底等を行い、工夫しながら学校生活を送っています。岡山県のICT先進校である本校は、コロナ禍においてさらに効果的な使用法、AI教材を使用した個別最適な学びを提供できる学習を進めており、実践を他校に紹介するなど、周囲からも注目されています。

また、令和5年5月8日に新型コロナウイルスが第5類に移行し、学校生活は本来の姿に戻りつつあります。日常でもマスクを外す生徒も増えており、放課後は部活動をする生徒の元気なかけ声が校内に響いています。修学旅行も大きな変更もなく関東方面に3泊4日で実施することができました。それでは、昨年後半からの生徒の活躍の様子を紹介します。

○惜楓祭

惜楓祭はコロナ禍ではありましたが、3年ぶりに一般公開し、多くの地域の方にも楽しんでいただきました。和気高女誕生から100年を記念し、テーマを「WakeUp!! 100年分のirodori」とし、9月3日（土）に文化の部を行い、1年生は映像制作、2年生は展示、3年生は模擬販売を行いました。また、有志による歌、ダンス等のパフォーマンスで学校全体が盛り上がりしました。



そして、9月5日（月）に体育の部を挙行することができ、各ブロックが学年を超えて一致団結して楽しみました。この縦割りのブロック対抗を惜楓祭だけでなく、学校生活全般で取り組む生徒会の企画が進んでいます。球技大会や小テスト、身だしなみや環境整備といった様々な項目があることで学年間の交流も多く、活気ある学校生活となっています。

○地域連携活動と生徒の活躍

令和4年度、和気高女100年を記念し考案したオリジナルキャラクターのウクライナバージョンを作成しました。そして、ウクライナ支援ガチャガチャ募金を和気町や岡山市で継続的にを行い、多くの方から頂いた浄財16万円を岡山ユニセフに贈呈しました。生徒の温かい気持ちが届くことを願っています。



そして、令和5年度は学校設定科目「地域協働探究」の完成年度となり、週に1日「地域で学ぶ」

授業が実践されています。多くの企業の協力を得て、就業体験も実施しています。詳しくは別頁をご覧ください。生徒の成長が伺えます。



また、高校生議会に参加し、太陽光パネルの大量廃棄について等の質問をしました。追加質問まで行い会場にどよめきが起こりました。

ボランティア活動もコロナ前に戻り、地域の協議会や小学校と協力して和気駅前のイルミネーションを作成し、多くの方に楽しんでいただきました。



創立記念に際して、備前化成社長清水富江さんに「ようこそ先輩」と題して対談形式でお話を伺いました。高校時代のこと、会社を継いでからの苦労ややりがいなど心に響く内容でした。

閑谷學、探究発表会の様子や部活動やボランティア等、多くの生徒の活躍がマスコミに紹介されています。「広報わけ」にも毎月掲載していただき、本校の様子を地元の方に発信しています。また、継続的に生徒は新聞各社の読者欄に熱心に投稿し、多くの生徒の投稿が山陽新聞・朝日新聞に掲載されています。

本校ホームページからご覧いただけるブログ(<https://www.wakesizuokayama-ced.jp/wordpress/>)で紹介しています。学校の様子も随時アップしていますので、ぜひご覧ください。

○令和4年度卒業証書授与式・同窓会入会式

3月1日（水）に卒業生、保護者と在校生、教職員が出席し、令和4年度の卒業証書授与式を挙行了しました。昨年まで縮小されていた式典でしたが、在校生、保護者も制限なく参加していただき、盛大かつ厳粛に卒業生の門出を祝うことができました。会場には多くの祝電やメッセージが掲示されました。

先立って行われた2月28日（火）の同窓会入会式では、普通科59名、キャリア探求科34名、計93名が新たに入会し、内山会長から歓迎のメッセージをいただきました。

○生徒の全国募集

全国募集では、本校定員の120人とは別に、普通科8人、キャリア探求科4人、計12人を受け入れることができます。今春10人の入学があり、現在は1年から3年まで17人の生徒が在籍しています。

男子寮「金剛寮」も6名が生活しています。全国から和気閑谷高校を目指す生徒の身元引受人や下宿先を募集しています。「生徒の身元引受人になってもよい」「下宿を提供してもよい」と思われる方は、学校までお問い合わせください。

（問い合わせ先）和気閑谷高校 教頭

TEL (0869) 93-1188

地域で学ぶ、地域と学ぶ本校特有のキャリア教育 「地域協働探究」本格始動

酒巻孝治（地域協働学習支援員・和気町地域おこし協力隊）

学校設定科目「地域協働探究」が3年間の研究試行を経て、いよいよ令和4年度から本格始動しました。対象生徒は普通科協働探究系2年生の38人、毎週金曜日の1限から5限の5単位を充てました。2学期の就業体験を軸に授業を展開しました。就業体験では、朝から夕方まで2名程度の少人数に分かれて地域の事業所に赴きました。9月に第1期として3日間、11月に第2期として3日間で実施、対象生徒の全員が1期と2期とで二つの異なる業種を体験しました。

これに派生するその他の授業活動として、卒業生聞き書き（卒業生へのインタビューを書き起こして冊子にする）、Talk Folk Dance（居住者を招いて生徒がFolk Danceの要領で相手を次々に変えながら対話する）、2市1町訪問（赤磐市、備前市、和気町のそれぞれ5つの事業所を8名程度の班で訪問して働く大人と対話する）などを実施、多様でチャレンジングな授業を展開しました。

これに続いて本年度令和5年度の1学期は、新3年生については上記に続く3箇所目の就業体験を、新2年生については上記を継続拡充する授業を実施しています。

就業体験では、生徒一人ひとりがそれぞれの事業所で働く個性的な大人と人間対人間の距離感で触れ合い、生徒は一人の人間として「大人と知り合う」に至ったようです。これは就職活動の一環として一般的に実施される短期間のジョブシャドウイングなどでは得られないことだと考えます。そして、二つの異なる業種を経験したことは、自身の志望を冷静に客観視する機会になりました。言わば、人生の小さな「回り道」の体験になりました。こうした体験を通して、生徒は今の自分と緩やかに繋がる将来を個性的にイメージし始め、今の自分を将来に繋げて少なからず肯定することができたようです。

この地域協働探究は、本校だからこそ出来る、他の地域の他校には出来ない本校の教育活動の特徴の柱になる授業であると考えます。このように

考える本校の特徴の一つはその独特の規模です。地域には対象生徒の数に対して十分且つ多過ぎない数の事業所があります。学校と町の規模が関係性の薄まらない程度に適当で、絶妙なバランスが成立しています。

その上で更に重要な要素は、地域に根付く本校への強い愛着です。地域の事業所の方々の多くが、出来るだけ就業体験を受け入れよう、本校の生徒の為なら一肌脱ごう、と言ってくださいます。この機運を後押しする地元行政の心のこもった協力と支援の姿勢もこれに強く効いていると考えています。

この愛着は、まず日本随一という本校の長い歴史によるものと考えます。しかしこの愛着の所以として寧ろ特筆したいのは、人と人との信頼と協調、即ち卒業生の方々、地域の方々、保護者の方々、そして教員による人と人との信頼と協調です。言い換えれば、何処か気楽な「馴染み」の感覚のようなものです。この「馴染み」の感覚は長い歴史によってじっくりと育まれ、今も厚みを増して更新され続けています。だから、わざとらしくないのだと思います。本校の正門をくぐると地域からの愛着が集まる「気」のようなものを感じるのは、こうした「馴染み」の感覚があるからでしょう。本校を取り巻くこの何処か気楽な「馴染み」の感覚、この目に見えない貴重で唯一無二の財産を現実の教育に活かしたい。これを生徒の未来や人生の肯定に活かしたい。その為の先駆的な試みが、この本校特有の地域協働探究の授業活動だと考えています。

生徒一人ひとりが輝かしい青春を謳歌し、成長し、逞しく巣立っていくことを見守り後押しすることが「教育の喜び」だと考えます。この「教育の喜び」を卒業生の方々、地域の方々、保護者の方々、そして教員という馴染み同士で分かち合いたい。それが可能な地が、他の何処でもないここ和気であり、和気閑谷高校であると考えています。



就業体験



聞き書き



Talk Folk Dance



2市1町訪問

和気閑谷News



WebサイトもPDFでも随時更新中

令和4年度
後期
(10～3月)

和気閑谷高校の今をお伝えするニュースレター

01 2年生修学旅行



フジテレビ本社ビル前



念願のトイ・ストーリー・マニア



川越でSDGs研修

10月25日(火)から28日(金)の3泊4日で関東方面に修学旅行に行ってきました。初日は3コースに分かれ、川越などでSDGsに関する研修等を行いました。2日目は班別研修で、班ごとに計画を立てて浅草やお台場で楽しく過ごしました。3日目は、東京ディズニーリゾートを満喫し、4日目に無事に岡山に帰ってきました。

02 広がる・深まる学び



**☆韓国総領事による
国際交流に関する講演**
12月8日(木) 神戸から韓国総領事をお招きしました。「一番大切な隣の国韓国と日本」と題して、歴史や文化、経済のことなど興味深いお話を伺いました。

**☆韓国姉妹校との
オンライン交流**
12月16日(金)、昌原龍湖高校とオンライン交流を行いました。韓国語で日本文化や学校の紹介したり、日本で流行っているダンスを披露し、楽しく交流しました。



☆「ようこそ 先輩」講演
本校の卒業生である備前化成社長 清水章江さんに対談形式でお話を伺いました。高校時代のこと、会社を継いでからの苦労ややりがいなど心に響く内容でした。

☆高校生議会に参加
岡山県議会に5人参加しました。太陽光パネルの大量破棄について等質問しました。緊張しましたが追加質問を行い会場にどよめきがおこりました。大変良い経験になりました。

03 地域との連携・イベント

☆10周年！駅前イルミネーション

本荘地区まちづくり協議会、本荘小児童と合同で、和気駅前を飾るイルミネーション制作を行いました。今年はイルミネーションを始めて10周年となります。多くの人の気持ちを繋ぎ、冬の風物詩となっています。



☆ユニセフに贈呈 ウクライナ募金

2年生が8ヶ月かけて募金活動した浄財16万円を岡山ユニセフに贈呈しました。子どもたちが笑顔で学べる環境ができることを祈っています。



☆地域協働探究 就業体験 第2弾

協働探究系の2年生が就業体験に行きました。20の事業所にお世話になり、仕事や将来について考えることができました。

04 進路の実現



岡山医療センター附属
岡山看護助産学校
鉄谷 彩花 福が丘中出身



和気町役場
目賀 陽介 吉永中出身



岡山大学 経済学部
小川 紗奈 吉永中出身



岡山大学 経済学部
吉井 隆彦 佐伯中出身



福知山公立大学 地域経営学部
保志岩植葉 岡北中出身

岡山県立和気閑谷高等学校 〒709-0422 岡山県和気郡和気町尺所15 TEL:0869-93-1188 FAX:0869-93-1010

和気閑谷News



Webサイト&ブログでも随時更新中

祝
令和4年度
合格号十
令和5年2月

和気閑谷高校の今をお伝えするニュースレター

進路実現につながる和気閑谷高校での学び

探究活動やボランティア活動などを通して、地域・社会を知る、人と出会う

やりたいこと、なりたいたい自分を探り、自信や思いを強くする

夢や目標を実現できる進路を選択し、学習に取り組む

入学・採用試験で自分の考えや取り組みをしっかりとアピール！

自分の「やりたい」が実現できる！

総合型、学校推薦型の入試で国公立大学に合格！

推薦入試に強い！

岡山大学 経済学部 〈学校推薦型〉 吉井 陵渡（佐伯中出身）

自分の強みは目標を決めたらやり続けること！ 将来は公務員になって地域活性化に尽くしたい！

様々なボランティア活動など地域と関わることで、地域の課題や実態を知るきっかけに農業従事者の減少など、地域の課題をどうすればよいか考えつづけて……
そのために、県内で、地域経済のことや、課題解決・地域活性化について学べる大学へそれまで目立たない自分だったけれど、和気高での経験を通して自信が付き、目標が明確に！



岡山大学 経済学部 〈学校推薦型〉 小川 紗奈（吉永中出身）

地域が直面する課題解決に向けて、新しいビジネスチャンスを生み出したい！

子どもの頃、両親とともに移住してきた、自然豊かな環境で健康的な生活を和気高で、多くの資格を取得することで、自信が付き、共通テストを利用した受験をすることを決意閑谷學で地域課題について探究するうち、この地域をもっと元気にするための新しいビジネスチャンスの可能性を感じた自分に自信が付き、地域だけでなく高校生の可能性を広げてくれるのが和気高！



岡山県立大学 保健福祉学部 〈総合型〉 坪田 唯花（和氣中出身）

誰もが受け入れられる居場所づくりを目指して 福祉を学んで困りごとや環境改善に尽くしたい！

中学時代からの和気町公営塾での学びが、和気高への進学へのきっかけに和気駅前イルミネーション作りや英語研究部のイングリッシュフェスの実践が成長の機会に課題解決に向けて主体的に取り組んだ経験と学びが、入試倍率10倍への挑戦の自信に自分がやりたい主体的な活動を応援してくれるのが和気高！



福知山公立大学 地域経営学部 〈学校推薦型〉 保志岩 柚葉（岡北中出身）

和気高で様々な体験と発表の機会を得て成長！ 将来はまちづくりに貢献したい！

「閑谷學」で、地域の歴史文化に興味関心を持ち、「地域の祭り」をテーマに探究活動を展開実際に獅子舞などの祭りに関わる人々との交流で、地域の伝統文化の良さを再発見地域の文化の観光資源としての活用などによる地域活性化を学べる大学を選択校外での発表や様々な人との交流など、当事者意識を持って取り組めるのが和気高！



＊総合型、学校推薦型とも、高校の活動実績や目標達成の意欲や資質などを重視する選抜。総合型は特に大学側が求めている学生像に合っているかを重視。学校推薦型は高校の校長の推薦が必要。国公立大学の入試でも、一般方式でない総合型と学校推薦型の導入が年々進んでいます。

就職内定100%（13年連続）！

地元就職率43%！（東備管内）

和気町役場 目賀 陽介（吉永中出身）

思っても行動に移せなかった中学時代から成長！ 将来は町の活性化に絡めたい！

一歩を踏み出し、行動に移す勇気をもらったのは和気高の「やってみよう」の雰囲気、学校活性化に向けて生徒会長に立候補、バドミントン部でも県ベスト32に生徒会の活動で、地域との関わりが増え、地域の人に恩返しをしたいという思いが大きく膨らむ先生の個人指導・面接指導もあって、猛勉強して、念願の和気町役場の内定につながった！



岡山県立和気閑谷高等学校 〒709-0422 岡山県和気郡和気町尺所15 TEL:0869-93-1188 FAX:0869-93-1010

令和5年度
1学期
(4～7月)

02 広がる・深まる学び



卒業生・旧職員

昨年9月以降にいただいた便りの一部を

和気閑谷高校は、10年勤務したので懐かしいです。是非皆様の連携により継続して欲しいです。私は78歳になりましたが、まだ会社勤めをしています。同窓会の益々の御発展と皆様の御健勝をお祈りいたします。

旧職員 有利 信一

天城高校に勤務し野球部長をしています。年に2回和気閑谷高校野球部と練習試合をさせて頂き有難う御座います。今後ともよろしくお願いします。

旧職員 三宅 章夫

昨年度から、鳥城高校夜間部の教頭として、日々勉強させていただいております。教職員の方々、生徒たちに恵まれて充実した毎日を送っています。

旧職員 福田 浩司

岡山県青少年教育センター閑谷学校の所長4年目です。同窓会のますますのご発展をお祈り申し上げます。櫓の木のライトアップの際は是非お越しください。

旧職員 香山 真一

現代美術家としての発表展、若手美術家を育てる発表展をいくつか実施しています。

ペンネーム 内田 信

S 25 卒 内田 信好 (佐々木)

あっという間に90歳を過ぎ、赤磐市に住む我が子に助けられながら何とか生かされていることに感謝です。会報を目に高校時代に思いをはせ、元気をもらい有難いです。

S 25 卒 岸本 和良

S 26 卒 弘子 (岩崎)

「同窓会会報」を見るのがとても楽しみです。和気のニオイで元気になれます。今後ともよろしく願いいたします。

S 26 卒 藁科 逸雄

ライフワークは書道と俳句、書展には年間6～7回出しています。俳句は毎週朝日、読売、山陽新聞などに出句しています。

S 27 卒 津田 忠彦

閑谷への山道が足腰と不屈の精神を培ってくれました。お陰で、海外で評価される論文も書き、今は元気で余生を送っています。感謝・感謝です。

S 29 卒 恒次 利幸

趣味が多く、和の踊・3B体操・バタールゴルフなどを楽しんでいます。子供や孫に囲まれて賑やかな毎日を過ごしています。

S 36 卒 松浦 敏子 (沼本)

早稲田大学環境総合研究センター招聘研究員、北九州市立大学非常勤講師、(株)住環境計画研究所代表取締役会長として頑張っています。

S 38 卒 中上 英俊

東京へ行く機会があり、皇居外苑に建立されている「和気清麻呂」銅像を拝観してきました。皆様、機会があれば是非見てください。

S 38 卒 藤本 澄男

子供達は独立し、近くに住んでいます。小学生の孫は毎日寄って親が迎えに来るまでいます。今の小学生は、こんなにというくらい宿題があります。私には手に負えません。

S 41 卒 河原 芳枝 (円見)

からのたより

掲載いたしました。()は旧姓



同窓会会報をお送りいただき有難う御座います。家庭の事情で実家へも気軽に帰ることが出来ないで、この会報を読んでその時を思い出すことが出来ます。有難う御座います。

S 43 卒 扇谷 玉枝 (藤沢)・

コロナ禍で岡山に帰ることが出来ませんでした。昨年8月にやっと墓参りが出来ました。高校時代の親友と会え、懐かしく互いの健康を喜びました。皆様には大変お世話になります。

S 43 卒 山田 淑子

現役で頑張っています。インドネシアにも出張しています。

S 45 卒 小宮山 尚理

緑内障のため大好きだったバイク・ツーリングをやめ、現在は中四国を中心に山歩きを楽しんでいます。

S 46 卒 横山 茂樹

現在も現役で社労士業をしています。次にバトンを渡すまでは頑張りたいと思っています。たまに、関谷学校に行きますが、昔が思い出されて懐かしいです。

S 48 卒 徳永 旭生

福祉施設で勤務していました。先輩の方、70歳前後になられると思います。文芸部「からまつ」で活躍された方を捜しています。是非、ご一報ください。

S 51 卒 新田 正純

妹が吉永に居るので、度々関谷付近を通ります。「本当に良いところだなあ」と今更ながらに思います。和気関谷高校に行ってて良かった。

S 52 卒 西上 祐子 (柴原)

定年退職後再任用で4年目、特別支援学校で勤務しています。週末には空き家となった実家の土地・家屋の管理に帰省しています。母校の報道があると、自分の高校時代を振り返るとともに後輩達の活躍にエールを送っています。

S 53 卒 溝辺 直樹

2020年の350周年記念の「秋葉の儀」に参加させて頂き、講堂での論語の貴重な講習を受けさせて頂き大変感動しました。袴、袴の装束の方々の荘厳な儀式にも息を飲みました。我が家は、祖父・母・私・甥の4代が母校に学びました。益々のご発展をお祈りしています。

S 54 卒 森本 さち子 (吉房)

一昨年、広島の方で関谷学校の講堂と見事な紅葉が取り上げられ放送されました。講堂で円座に正座し論語の学習をしたこと、雑巾で床を磨いたことなどを懐かしく思い出されました。

S 55 卒 米田 恵美子 (太田)

事務局、幹事の方々お世話になっています。皆様のご健勝を心よりお祈りしています。

S 62 卒 野原 由子 (栗原)

※ ()は旧姓です

年会費・任意寄付

ありがとうございました。

令和4年度分 納入者一覧

(4年4月～5年3月)

(単位：千円)

(旧職員)	岡田 一子 10	杉原 昇 1
浅田 雅明 2	延藤 久枝 1	竹並 弘子 1
井上 進夫 1	吉川 雅子 1	津田 忠彦 11
加治 信正 3	古澤 誠子 2	中野 順夫 2
加藤 廣 1		横田 清志 1
河合 成康 1	S24	平田晋三郎 6
国定 忠治 2	稲田 晃 2	松川 和明 2
小坂 博通 2	野吹 芳 6	三木 早苗 1
駒本 弘忠 3		三宅 誠 1
近藤 典子 11	S25	西邊 明 3
中根 哲則 6	宇垣 成子 2	
羽原 照夫 2	内田 信好 2	S28
樋口 純一 1	岸本 仁 6	岡 靖人 1
福田 浩司 6	岸本 和良 4	片倉 隆 1
福田 弘子 2	鎌内 英策 1	川西 正廣 1
福渡 直躬 1	野原 典子 2	清水 保 10
堀口 純一 1	橋本多美枝 1	末廣 次男 1
前 亮治 1.5	森本 巧 2	末廣富士子 1
村山 仁三 1		須成 忠夫 5
森 彰 3	S26	武元 正好 4
守時 輝明 1	上村 昌司 1	寺澤 秀子 3
山本 高 3	浦上 登 3	西澤 定律 1
和田 誠也 2	浦上 昭一 3	丸山建太郎 3
	梶井 清永 2	森本 明治 4
S19	余谷 初恵 3	
吉形 吉弘 6	黒沢 一美 2	S29
	延藤 克美 2	射矢 頸子 1
S20	平井 昭信 3	浦上 栄子 1
芦野 敦子 10	三宅 幸 1	江村 幸子 1
岡田智恵子 11	村木 節子 1	太田 光子 1
金光 彰三 3	森永佐都美 100	大森 経徳 10
田中 義一 11	山本 昇 6	河田 重子 2
九本 美江 5	横山 郁子 5	皿井 淳雄 5
	薬科 逸雄 10	恒次 利幸 3
S21		山本 昌知 5
国垣二三夫 5	S27	吉岡 茂 11
	有正 修造 5	和氣 清子 1
S22	射矢 諒一 2	
坪井 栄子 3	太田 寛子 2	S30
戸川 由子 1	岡崎 恭子 1	安東 保 1
	岡本 方子 1	伊藤 才子 2
S23	木崎 宏 1	岩瀬 章雄 2
大平 恵子 1	久保 真 1	植木 弘子 2

太田 生子 1	S33	森川美智子 4	杉山 玄意 3
大徳 常美 2	安藤 照子 1	矢吹 文子 3	高取 頼子 11
小野陽一郎 2	伊木 康通 6		高原 逸子 2
神崎 信義 3	上野喜美子 3	S36	友安 俊和 2
小林 信子 2	堀川 佳永 1	赤松 章二 2	内藤 廣章 4
柴田 初江 10	大田原啓介 5	有吉 時男 3	日笠 穂 6
下村 脩 4	岡田瑞美子 1	岡本 弘子 1	藤井 洋一 2
下村 久栄 1	梶原 俊孝 5	小川 清弘 11	藤本 澄男 1
玉村 一幸 3	北川 眞正 2	岸本 勝子 1	松島 幸利 2
常久 和之 1	小宮山莊太郎 1	岸本富佐子 1	安本 昭信 2
森森佐智子 1	堀尻 朋子 1	木村 直 5	
西崎 嘉人 2	瀧川 南香 1	国垣紀久子 1	S39
平井美登里 4	立石美智子 1	栗原 昌子 10	池上 繁子 1
三笠 享子 1	南石 正和 2	國光 文夫 1	石野 研一 1
野本 諭 1	安本 哲也 5	近藤 登一 1	岡崎 英三 21
S31		近馬千代乃 2	片山田鶴子 3
有吉 正春 4	S34	坂本 堅志 1	小坂 善三 10
池 芳昭 3	井上 長子 4	佐藤 早苗 1	斎藤 照美 3
生駒 公子 10	遠藤紀代子 5	重定 清子 1	実盛 康之 5
今田 純一 1	小田 祝江 3	柴原東洋彦 3	宮地 寿子 1
岩田 薫 11	田崎 一興 2	竹井 和子 5	横山 洋子 5
大森 大陸 6	倉田 恵子 5	谷川 武昭 2	余田 敦 1
大森 平男 6	近馬 俊治 2	田澤 紀子 1	蒲田 幸雄 1
金光 宣三 1	竹内 良雄 3	近松 弘輝 3	
杉本恵美香 3	蜂波 昌文 2	長宗 雅子 1	S40
戸田 桂子 1	日笠 郁代 1	春名 瑞子 1	麻植 栄一 1
中村 晃 2	藤本 悦子 1	藤原 義夫 2	石橋 隆昌 3
橋本 重昭 1	藤原 俊吾 3	森 一彦 2	太田佐和子 1
原 桂一 2	本庄 稔 6	吉延 重信 3	栗尾 敬之 5
安井五十鈴 6	松本伸太郎 3		國光恵美子 1
S32		S37	坂田 菊美 2
伊永 忠範 3	S35	青井多嘉子 1	高島 正男 1
入谷 一彦 1	伊賀 正孝 3	大森 克彦 1	日賀 紀子 1
大川 文恵 2	池上貴久雄 1	小倉 尚子 1	山本 恵子 1
太田多美子 5	上林 徳治 2	小野田和義 3	若林 誠史 3
岡本 弘子 2	江原眞智子 1	川口 眞正 1	和氣 晴信 6
小坂 富三 5	遠藤 雅恵 1	神崎 進 1	和氣 晴信 4
柴田 健治 3	大賢 允子 10	高西 照子 1	
杉能多富子 1	大森 博雅 3	小西 陽一 3	S41
角南 勝弘 3	亀川 博子 1	佐藤 紀代 1	青木 孝子 3
須成 淳人 2	川田 誠 1	城谷 允子 1	浅原美津江 2
野山 倫子 1	久崎 国証 5	戸川 健一 2	伊賀 安文 3
浜田 利緒 3	末広 俊郎 10	野崎 晋子 2	伊藤 孝二 1
堀 崇文 1	寺角 都 1	真殿 正次 11	石井 史子 3
三宅 典子 1	寺見 公志 3	森川 幹彦 1	内山 一美 3
山口 弘子 1	仲原 人美 11	山田 昭義 2	大田原晴久 1
料治 孝子 1	西本 照子 1		岡田徳太郎 2
	久安 吉子 1	S38	小野田正広 3
	間宮 宣美 6	金光 薫 3	神本 富子 6
	三浦 剛 2	小山 栄 1	河相 恵良 3

川西 和見 5	S44	広瀬 洋子 1	福原 一成 4	松原 麗子 1	S59	H 6
河原 芳枝 2	赤木 保男 3	藤澤 静江 1	藤本 敏弘 4	溝辺 直樹 2	砂場 康子 1	有正 典之 3
木田千津子 11	内田 譲 4	藤原 明文 2	安井知佐子 1	宮慶美恵子 10	難波 浩明 1	金光 正浩 1
木村 伸 5	栗原 明人 1	武雄 幹夫 3	橋本 光司 10	向井 重明 3		神本 昇 1
澤田 勇 3	河本 和子 2	宗久 宏 6			S60	中永 満子 2
杉本 山利 1	國友 勝美 1	安川 律子 3	S50	S54	岩藤 美保 2	
高橋 隆一 11	鈴木三重子 1	横山 茂樹 2	神崎 恵筑 3	赤島 真一 2	戸島 康正 3	H11
橘 郁夫 1	角南 守正 3		神崎 雅光 2	秋山 恭子 1	平野 昌美 1	花澤 哲文 1
徳永 深二 10	竹中 貢三 2	S47	澤田 雅之 1	今井田敏宏 1		
仲原 純一 1	橘 広美 1	家野 光枝 1	谷口満智子 5	木南 春樹 1	S61	H14
中原千恵子 2	谷口 聖 2	内田 太 3	西野 保久 6	瀧 信子 1	姫崎岩哲郎 4	前川 洋輔 3
新田 仁美 4	中家 茂博 3	大田原耕一 2	林 正章 1	南部 正明 5	景山 泰吉 3	
品中 俊明 5	中川 康三 2	岡崎 武夫 2	山本 卓史 5	丸尾美代子 2	小島 恵 2	H18
久次 準二 2	花沢 芳文 3	片山 玲子 1		神子戸範浩 1	高橋千亜紀 3	大田原基敏 1
藤原 弘子 1	馬場 象三 3	栗原 宏之 1	S51	吉岡 弘二 1	矢野美佐子 1	中村 山佳 1
藤原 義昌 3	藤原みえ子 5	高取 隆昌 1	石原 高志 4			
三原 千幸 2	持堀れい子 3	原 朗 1	大崎 恭子 11	S55	S62	H21
山本日出男 6	溝田 恵一 3	藤原 暢人 1	岸本雄一郎 1	岡田 公彦 5	高原 晃一 1	石原 悠太 2
山本 真澄 5	三宅 典子 2		坪井 恭紀 6	岡本 栄二 1		銀本 昭恵 1
	守井 秀雄 10	S48	西山 繁夫 1	藤原 星子 2	S63	
S42	山下 彰子 1	石野 純久 6	新田 正純 11	安原 千里 2	飯宮 美紀 2	H29
金子 文子 1	吉房 順治 5	板野 節子 2	樋口 一平 1			万波 真人 1
川上 元子 5	若林 幸 2	岩藤 朝宜 6	丸山 博文 2	S56	H 1	
高加 國夫 1		小坂 仁志 3	萬代 美二 1	大峠 一吉 3	井上 雅彦 2	H31
近藤 孝 2	S45	玉口 唯夫 1	万代 茂敏 1	小川 睦美 1	大森 一廣 3	万波 優人 1
下井 富司 2	荒嶋弥寿夫 5	当瀬 博文 5	山田 直樹 1	河原 幸一 1	恒次 晋司 1	
高尾 行雄 6	石井 文敏 5	徳永 旭生 5		末廣 弘毅 1	八部 緑 2	R 3
寺尾 彰洋 1	岡本知加子 2	島越 一恵 5	S52	森本 治子 3		中居 智 2
藤原 秀彦 11	北川久美子 3	中田徳一郎 2	熱田 龍二 3		H 2	
万原 三朗 1	木下保都美 1	沼本 典子 3	伊藤 整 1	S57	上野真由美 1	R 4
	国友 聖 5	延藤 隆三 6	太田 啓輔 1	青山 幸夫 1	福井まゆみ 1	岩本 悠生 1
S43	國近 登 2	松井 京子 1	下山 早織 2	岸本 美加 10	横田 圭司 1	藤原 悠 1
生本 悦子 5	小宮山尚理 2	三谷原るり子 5	角南 豊司 5	黒澤 朋子 1		
梅原 俊子 4	竹之内正行 3		竹内 基 2	鈴鹿 尚史 1	H 3	
太田山和子 10	戸川 基子 5	S49	西上 祐子 1	高畑 義孝 2	武元 慶孝 4	令和4年度合計
國友 道一 3	徳光 幸弘 5	赤木 年 2	藤原 茂洋 1	橘 裕之 3		年会費 511名
佐々木典子 1	難波 明美 10	荒内 保緒 2	村下美和子 3	恒次 都子 1	H 4	51万1千円
重蔵 雅司 3	村上 輝行 5	梅田 京子 1	村中 由美 1	萩原 潤彦 10	小林 弘典 1	任意寄付
杉山 隆一 1	山本 繁夫 5	川上 弘美 11	森定 宏之 6		能勢 宣昭 1	108万7千500円
瀬戸山久木 3		奇峰知恵美 3		S58	山田 裕二 2	
高尾 長 2	S46	君和 一信 3	S53	国重 朝美 1		
時信 匡宏 3	荒内 晃 2	穴戸 典子 3	尾手 芳美 1	恒次 一 2	H 5	
松原 潤子 3	小笠原順子 1	西中 純一 1	柴田 恭子 2	中村 修作 3	田中 佳代 1	
村田ひで子 6	角屋 純子 1	野上 雅博 1	廣石江身子 1			
守谷 徹 1	佐藤 映子 3	馬場 雅夫 2	福田 洋人 1			

●「お詫びと訂正のお知らせ」

2022.9.1発行の会報第28号10頁「年会費・任意寄付」欄でお名前が間違っていました。
お詫びして訂正いたします。

誤) S32 泉 每子 さま 正) S32 奥 每子 さま

令和4年度同窓会総会

令和4年度同窓会総会・懇親会が、現旧職員・卒業生計49名参加のもと開催されました。

コロナ禍でしたが予定通りに開催することができました。今年度は昭和55年3月の卒業生11名に当番幹事を務めていただきました。ご協力ありがとうございました。

懇親会では各テーブルから懐かしい話や近況報

告をいただき、和気関谷高校の未来に思いを馳せました。

最後に感染予防のためマスクをしたまま関谷中学・和気高女・和気関谷高校の校歌を歌い、母校の発展を祈りました。

次回幹事である昭和56年3月卒業生へ引き継ぎ、またの再会を約束して閉会となりました。



令和4年10月30日(日) ビュアリティ まきび

★同窓会役員一覧

会 長 (1)		副会長 (3)		監 事 (2)	
内 山 登 (S49)		延 藤 安 茂 (S48)		和 田 敬 子 (S43)	
		横 林 光 司 (S49)		吉 房 順 治 (S44)	
		徳 永 夕 子 (H4)			
理 事 (11)			校 内 理 事 (6)		
高 橋 隆 一 (S41)	藤 原 秀 彦 (S42)		赤 松 一 樹 (校長)	久 常 宏 榮 (教頭)	
吉 川 美 保 (S42)	國 友 道 一 (S43)		三 宅 章 仁 (事務長)	和 氣 徹 (S55)	
松 嶋 孝 則 (S43)	守 井 秀 龍 (S44)		頼 宮 美 紀 (S63)		
清 水 富 江 (S46)	岡 本 幸 人 (S47)				
内 田 大 (S47)	森 定 宏 之 (S52)		《事務局》		
萩 原 潤 彦 (S57)			赤 嶋 真 一 (S54)		
会計担当 (1)		藤 原 義 昌 (S41)			

編集後記

味覚の秋を迎えました。二十四節気のひとつ白露も近くなりましたが、まだまだ暑さの残る日々が続いています。会員の皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

さて、2学期は3年生の就職希望者の選考試験もスタートし、進学に向けての試験も本格化します。また学校行事としては横楓祭文化の部、体育の部と続き、2年生の修学旅行も実施されます。

ところで全国募集が始まり数日が経過しました。令和4年4月からは記念会館三階に男子生徒8名が収容できる金剛寮が完成しました。今年は県外からの入学した1年生4名、2年生2名の計6名が入寮しています。

「ナンバーワンの教育ではなく、オンリーワンの教育を願う」というある同窓会会員の言葉があります。オンリーワンの歴史に裏づけられたオンリーワンの教育のさらなる展開を期待しています。

(赤嶋 記)